

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル技術の活用により地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、従来の**地方創生推進交付金**、**地方創生拠点整備交付金**等を継承する**地方自治体への支援制度**。

- ▶ 市では、地方創生に資する事業について**財源確保**を図りながら、推進していくため、前身の地方創生推進交付金等を含め、本交付金を積極的に活用。
- ▶ 交付金の活用にあたっては、具体的な**KPI（重要業績評価指標）**を設定するとともに、まちづくり総合会議にて事業進捗を報告することにより、**PDCAサイクル**による適切な事業実施を行うことが要件。



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

現在、地方は、人口減少や少子高齢化、産業空洞化など様々な社会課題に直面しています。デジタルは、こうした社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出す源泉です。デジタル田園都市国家構想は、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。そして、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

出典：内閣府 地方創生推進事務局／内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

見附市 交付金事業の状況①

① 駅周辺地区を中心とした地域活性化および若者の拠点づくり支援事業

【活用事業】 デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 横展開型（見附市単独事業）

（１）主な内容

見附駅前の交流施設 MITSUKERU（ミツケル）を拠点として、駅周辺地区の「賑わい創出」や「交流機会の増加」、そして若者が多く集まる立地特性を活かした「若者の活動支援」を公民連携で推進していくとともに、デジタル技術等を活用し、交流施設の拠点性を高めることで、商圈としての魅力が向上させ、地域経済の活性化を図る。

（２）事業の期間 令和５年度～令和７年度（３年間）

（３）令和５年度事業の状況

見附駅駐輪場のリノベーション工事を実施。見附駅に完成した交流施設MITSUKERUが若者によるまちづくりの拠点施設となるように、NPO法人を運営主体とし、若者による「賑わい創出」や「交流機会の増加」を目的とした社会実験イベント等を官民連携で実施している。

（４）令和５年度の実績額 8,553,918円（交付額：4,276,959円）

（５）令和６年度の交付決定額 13,150,000円（交付額：6,575,000円）



見附駅前交流施設 MITSUKERU

見附駅前の駐輪場を交流拠点へとリノベーション。



NPO法人doみつけ

音楽ライブや作品展等を実施した「アオ祭」の様子。駅前交流施設で集まった学生自らが企画・運営。市とNPO法人が連携し、若者の活動を支援。

見附市 交付金事業の状況②

② 人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」

【活用事業】 デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生推進タイプ 横展開型
(新潟県ほか見附市を含む県内15自治体による広域連携事業 (代表自治体:新潟県))

(1) 主な内容

新規事業創出に意欲ある企業の進出・人材の結集、地域DX推進等の結集を図り、新潟県の強みであるものづくり産業や農林水産業をデジタルの力で変革し、地域から魅力あるビジネスと仕事を生み出すとともに、豊かで便利なデジタル社会の実現に向けて県と市町村が共同で取り組む事業

(2) 事業の期間 令和5年度～令和9年度 (5年間)

(3) 令和5年度事業の状況

1) U・Iターン促進・関係人口創出に係る情報発信・交流事業

情報発信ツール制作 : プロモーションムービー作成、パンフレット作成等
ふるさと同窓会実施補助: 30歳同窓会、東京みつけデー実施支援

2) 働きやすい職場環境づくり促進事業

働きやすい職場環境づくりを行う新潟県の認定事業者に市から奨励金を交付

3) 新規事業の促進を図るための相談会開催・新規事業展開応援支援事業

新しい取組にチャレンジしようとする事業者に対して一部経費を補助。

専門家による個別相談会による支援も実施

(4) 令和5年度の実績額 10,382,350円 (交付額: 5,191,175円)

(5) 令和6年度の交付決定額 13,218,000円 (交付額: 6,609,000円)



プロモーションムービー作成

新規オープンしたプレイラボみつけのPRムービーを作成し、UX新潟テレビ21「第4回新潟ふるさとCM大賞」へエントリー、県内4位となりました



働きやすい職場環境づくり促進

男女共に働きやすく、仕事と家庭が両立できる職場環境づくり等に取り組む事業者に対して新潟県が認定(ハッピー・パートナー企業 パパ・ママ子育て応援プラス)。認定のインセンティブとなるよう見附市からも奨励金を交付。

K P I の達成状況

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

① 駅周辺地区を中心とした地域活性化および若者の拠点づくり支援事業

	事業名称	事業開始前		1年目		2年目	3年目
		年度	R 4	R 5		R 6	R 7
1	駅交流施設の1日あたり平均利用者数	目標	0人	150人	未評価	220人	300人
		実績		— (R6年5月オープン)			
2	駅周辺地区における新規出店店舗数 (R5からの累計)	目標	5件	6件	↗	7件	8件
		実績		6件			
3	コミュニティバス駅前バス停留所の1 週間あたりの乗降者数	目標	1,200人	1,300人	↗	1,400人	1,500人
		実績		1,693人			

※人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」については、県が全体で設定しているため、見附市のみのK P I はなし。